

運営指導による介護報酬の算定誤りの具体事例

<p>訪問① 訪問介護の所要時間について〔訪問介護〕</p> <p>○ 訪問介護を1日に複数回算定する場合にあっては、算定する時間の間隔は概ね2時間以上とされているところ、間隔が空いていない事例について、誤ってそれぞれ算定していた。</p>
<p>訪問② 2人の訪問介護員等による訪問介護の取扱い〔訪問介護〕</p> <p>○ 居宅サービス計画及び訪問介護計画に記載がなく、利用者等の同意を得ずに、2人の訪問介護員により訪問介護を提供し、所定単位数の100分の200に相当する単位数を算定していた。</p>
<p>訪問③ 早朝・夜間の加算〔訪問介護・訪問看護〕</p> <p>○ 居宅サービス計画及び訪問介護計画に位置付けられていない深夜の時間帯に、訪問介護のサービスの提供を行っている事実を確認した。</p> <p>○ 夜間の時間帯の訪問看護について、居宅サービス計画及び訪問看護計画に位置付けられていないにもかかわらず、夜間加算を算定していた。</p> <p>○ 緊急時訪問看護を行った場合には、早朝・夜間・深夜の訪問看護に係る加算は算定できないにもかかわらず、夜間の訪問看護に係る加算を算定していた。</p> <p>○ 加算の対象となる時間帯におけるサービス提供時間が、全体のサービス提供時間に占める割合がごくわずかであるにもかかわらず早朝加算を算定していた。</p>
<p>訪問④ 緊急時訪問介護加算〔訪問介護〕</p> <p>○ 次の事例が見受けられた。</p> <p>(1) 利用者又はその家族等から要請を受けた時間及び要請の内容の記録がなく、要請を受けてから24時間以内に必要なサービスを行ったことが確認できなかった。</p> <p>(2) 当該加算について重要事項説明書に記載がなく、利用者又はその家族等からの同意がない状態で報酬の請求が行われていた。</p>
<p>訪問⑤ 通院等乗降介助と身体介護中心型の関係等〔訪問介護〕</p> <p>○ ヘルパーが自ら運転する車両への乗降介助を行う場合、乗降介助の前後に相当の所要時間(20～30分程度以上)と手間がかかる身体介護を行っていないにもかかわらず、利用者が要介護度4以上であることのみをもって、一律に、一連の所要時間(運転時間を除く)に対応する「身体介護中心型」の所定単位数を算定していた。</p>
<p>訪問⑥ 長時間訪問看護への加算〔訪問看護〕</p> <p>○ ケアプラン上1時間30分以上の訪問が位置付けられていないにもかかわらず、算定していた。</p>
<p>訪問⑦ 初回加算〔訪問介護・訪問看護〕</p> <p>○ 訪問介護計画が作成されていない、または、サービス提供責任者がサービス提供を行っておらず、かつ、同行も行っていない等、加算要件を満たさないにもかかわらず、加算を算定していた。</p> <p>○ 新たに訪問看護計画書を作成していないにもかかわらず、初回加算を算定していた。</p>
<p>訪問⑧ 同一建物等に居住する利用者の減算〔訪問介護・訪問看護〕</p> <p>○ 訪問介護事業所と同一の敷地内のケアハウスに居住する利用者に対し訪問介護を行ったにもかかわらず、同一建物等減算をせずに算定していた。</p> <p>○ 訪問介護事業所と同一の建物に居住する利用者に対し、サービスの提供を行った場合は、所定単位数の100分の90に相当する単位数を算定すべきところ、所定単位数を算定していた。</p>
<p>訪問⑨ サービス提供責任者の配置〔訪問介護〕</p> <p>○ 受入実人数が3ヶ月間の平均で40名を超過していたにもかかわらず、サービス提供責任者を一人以上配置していなかった。</p>
<p>訪問⑩ 介護職員のみで行う訪問入浴介護〔訪問入浴介護〕</p> <p>○ 「入浴により当該利用者の身体の状況等に支障を生ずるおそれがないと認められる」旨の主治の医師の意見を確認したものの、その際次に確認すべき時期について確認をせず、当該意見のみをもって介護職員のみでサービス提供を行い介護報酬を算定してい</p>

た。
訪問⑪ 特定事業所加算〔訪問介護〕 ○ 「常時雇用する労働者」に該当しない訪問介護員等について、少なくとも一年以内ごとに一回、事業主の負担による定期健康診断が実施されていないにもかかわらず、加算を算定していた。 ○ 常勤のサービス提供責任者を2名以上配置していないにもかかわらず、特定事業所加算（Ⅰ）を算定していた。 ○ サービス提供責任者が、訪問介護員に対し、利用者に関する情報やサービス提供に当たっての留意事項を文書等の確実な方法で伝達し、サービス提供終了後の報告を受けていたことが記録上確認できないにもかかわらず、特定事業所加算を算定していた。 ○ 訪問介護員ごとの研修計画が作成されていないにもかかわらず、特定事業所加算（Ⅱ）を算定していた。
訪問⑫ サービス提供体制強化加算〔訪問看護〕 ○ 看護職員ごとに研修計画を作成していないにもかかわらず、サービス提供体制強化加算を算定していた。
訪問⑬ 主治医の指示書〔訪問看護〕 ○ 主治医の指示を文書で受けていないにもかかわらずサービスを開始した。
訪問⑭ 医療保険の対象〔訪問看護〕 ○ 末期の悪性腫瘍（末期の前立腺癌）の患者に対する訪問看護は、医療保険の対象であるにもかかわらず、介護保険の訪問看護費等を算定していた。
訪問⑮ 准看護師による訪問看護〔訪問看護〕 ○ 准看護師が訪問したにもかかわらず、看護師が訪問した場合の訪問看護費を算定していた。
訪問⑯ 退院時共同指導加算〔訪問看護〕 ○ 利用者が退院するにあたり、主治の医師その他の職員と共同し、在宅での療養上必要な指導を行い、その内容を文書により提供がされていないにもかかわらず、退院時共同指導加算を算定していた。

通所① 介護給付費の算定と利用実績 ○ サービス利用表の実績欄と通所介護計画実績表を突合したところ、サービス実績に基づかない介護報酬を算定していた。
通所② 人員基準欠如による減算〔通所〕 ○ 1割を超える人員基準欠如にもかかわらず、人員基準欠如による減算をせず、サービス提供体制強化加算（Ⅰ）を算定していた。
通所③ 同一建物に居住する者又は同一建物から通う者に対するサービス提供〔通所〕 ○ 通所系事業所において、事業所と同一建物に居住する者又は事業所と同一建物から事業所に通う者に対し、サービスを提供した場合に減算が行われていなかった。
通所④ サービス提供時間帯の受診・理美容等〔通所〕 ○ 通所サービスのサービス提供時間帯において、緊急やむを得ない場合でないにもかかわらず、併設診療所で受診していた。 ○ 理美容サービスに要した時間を含めて介護報酬を算定していた。
通所⑤ 送迎を行わない場合の減算〔通所〕 ○ 往復の送迎をしていない利用者について、片道分のみ送迎減算していた。 ○ 家族が送迎しているにもかかわらず、送迎減算をしていなかった。
通所⑥ 中山間地域等サービス提供加算〔通所〕 ○ 通常の事業の実施地域に居住している利用者に対して、当該加算を算定していた。
通所⑦ 入浴介助加算〔通所〕 ○ 入浴を中止しているにもかかわらず、算定していた。
通所⑧ 中重度者ケア体制加算〔通所介護〕 ○ 通所介護を行う時間帯を通じて専従する看護職員を配置していない日に、中重度者ケ

ア体制加算を算定していた。
通所⑨ 認知症加算〔通所介護〕 ○ 算定要件である日常生活自立度のランクⅢ、Ⅳ、Mに該当しない利用者について、認知症加算を算定していた。
通所⑩ 口腔機能向上加算〔通所介護〕 ○ 利用者ごとの口腔機能改善管理指導計画を作成していないにもかかわらず加算を算定していた。 ○ 口腔機能改善管理指導計画の進捗状況が定期的に評価されていないにもかかわらず加算を算定していた。 ○ 生活相談員や看護職員不在による人員基準欠如の日があるにもかかわらず、算定していた。

施設① 人員基準欠如による減算〔特定施設入居者生活介護〕 ○ 介護職員の配置数が人員基準を満たしていなかったにもかかわらず、人員基準欠如による減算をせず、介護報酬を算定していた。
施設② 入院・外泊時の取扱い〔介護老人福祉施設〕 ○ 入院・外泊中の入所者の同意があれば、当該空きベッドを短期入所生活介護に活用することは可能であるが、その場合には、当該入所者に係る入院・外泊時の費用は算定できないにもかかわらず、算定していた。
施設③ 認知症専門ケア加算〔介護老人福祉施設〕 ○ 認知症専門ケア加算の対象となる利用者だけでなく、対象外の利用者についても認知症専門ケア加算を算定していた。 ○ 施設における入所者の総数のうち、日常生活に支障を来すおそれのある症状若しくは行動が認められることから介護を必要とする認知症の者の占める割合が2分の1以上の要件を満たさなくなった後も加算を算定していた。
施設④ 看護体制加算(Ⅰ)〔介護老人福祉施設〕 ○ 常勤の看護師を1名以上配置していないにもかかわらず、加算を算定していた。
施設⑤ 夜勤職員配置加算〔介護老人福祉施設及び短期入所〕 ○ 加算要件である夜勤必要者数を満たしていないにもかかわらず、加算を算定していた。
施設⑥ 常勤専従医師配置加算〔介護老人福祉施設〕 ○ 専ら当該施設の職務に従事する常勤医師を1名以上配置することが必要であるにも関わらず、交代勤務により常勤換算方法で1名以上の配置とし、加算の要件を満たさないケースにおいて算定していた。
施設⑦ 機能訓練体制加算〔短期入所〕 ○ 専ら機能訓練指導員の職務に従事する常勤の理学療法士等が1名以上配置されていないにもかかわらず、加算を算定していた。
施設⑧ 生活機能向上連携加算〔短期入所〕 ○ 個別機能訓練計画を作成していないなど、算定要件に適合していないにもかかわらず算定していた。
施設⑨ 療養食加算〔施設及び短期入所〕 ○ 加算対象でない高血圧症の入所者に対して減塩食を提供した場合に、加算を算定していた。
施設⑩ 身体拘束廃止未実施減算〔施設〕 ○ 入所者に対してやむを得ず身体的拘束等を行う場合は、その態様及び時間、その際の入所者の心身の状況並びに緊急やむを得ない理由を記録することとなっているところ、車いすテーブルにより身体拘束を行っているにもかかわらず、当該記録を行っていなかった。
施設⑪ 退所前連携加算〔介護老人保健施設〕 ○ 指定居宅介護支援事業者に対して情報提供等を行うことについて当該入所者の同意

が得られていないことに加え、居宅サービス又は地域密着型サービスに対する情報提供及び利用に関する調整が行われていないにもかかわらず、算定していた。

施設⑫ 試行的退所時指導加算〔介護老人保健施設〕

○ 当該入所者について試行的な退所を行っていないにもかかわらず、試行的退所時指導加算を算定していた。

◎ 指定取消処分の際し返還させる額に100分の40を乗じて得た額の支払いを命じた事例

不正請求①

○ 有料老人ホーム併設の訪問介護事業所において、同じ訪問介護員が、同一時間帯に複数の利用者にサービス提供を行い、二重に報酬を請求していた。

不正請求②

○ 次の事項が行われていないにもかかわらず、虚偽の資料を作成し、運営基準減算が行われていなかった。

- ・ アセスメントに当たって、利用者の居宅を訪問し、面接を行うこと。
- ・ ケアプラン作成・見直しに当たって、サービス担当者会議を開催し、専門的な見地からの意見を求める。
- ・ ケアプラン原案を利用者又は家族に説明し、文書により利用者の同意を得る。
- ・ ケアプランを利用者及び担当者に交付する。
- ・ モニタリングに当たり、1月に1回、利用者の居宅を訪問し、面接結果を記録する。